

第2回 フォトコンテスト結果発表!!



1位



四季が丘井戸端会議
吉村伸也さん
「自作・自食料理教室」

2位



身体障害者福祉協会
岡本淳さん
「歩行訓練」

3位



ボランティアサークルたんぽぽ
吉富美智子さん
「お花見レクリエーション」

4位



地御前地区自主防災会
千原保仁さん
「子ども見守り」

5位



青少年育成廿日市市民会議
村澤和美さん
「あいさつ運動」

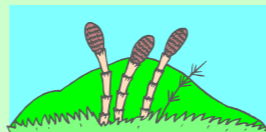


入賞者の賞品は「やまだ屋」様他、たくさんの方からのご協力をいただきました。ありがとうございました。

フェスタのイベントの一環として昨年からはじめた情報部主催のフォトコンテスト。昨年以上にたくさんのご応募をいただきありがとうございました。今年もステキな笑顔の写真が集まりました。昨年行ったデジカメ講座の成果でしょうか、どの作品も甲乙つけがたい物ばかりでした。来場者に人気投票をしていただき、このような結果になりました。

これから1年、また笑顔いっぱいの活動写真をたくさん撮ってくださいね。

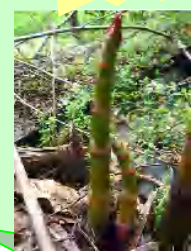
たべてみんなさい 春の味



いよいよ春真っ盛り♪

春の山野草って美味しい物がいっぱいあるのをご存じでしょうか？つくし、たんぽぽ、よもぎ、ゆきのした、おおばぎぼうし、うるい等々。吉和地域では、右記のような催しが開催されます。春の陽気に誘われて、参加してみたいかたがでしょうか？

シャットライ！ 山野草クッキング イタドリの炒め物



- ①フキの皮をむく要領で皮をむく
- ②節目ごとに7cmくらいの長さにする
- ③鍋ではなく、大きめのボールに全部入れる
- ④ヒタヒタになるくらいに熱湯をかけて、冷めるまでそのまま置く
- ⑤ザルにとり、ごま油、砂糖、麵つゆをフライパンに入れて熱したところのうちあげたイタドリを入れて炒める
- ⑥あまり炒めすぎると溶けてしまいます

◆イタドリ◆ たで科の多年草で春先に紅紫色の芽を出す。若い莖の部分は甘酸っぱく幼苗は虎模様の斑点がある。

◆ 自然の草花を食す ◆

5月13日(金) AM9:00~

場 所: 吉和市民センター

講 師: 中山長秀さん

参加費: 500円

吉和を散策し草花を採取、それを料理して試食します。

●申し込み

5月9日(月)までに参加費を添えて吉和市民センターへ

●お問い合わせ【吉和市民センター】

廿日市市吉和3425-1
0829-77-2116

お問い合わせ先 廿日市市市民活動センター
廿日市市住吉2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

ネットワーク現在の状況

(平成23年3月末現在)

登録団体 177団体

市民活動情報紙 さくらdeファミリー

廿日市市市民活動センター
平成23年春号
Vol. 15

運営協議会トピックス

「(仮称)まちづくり基本条例」の提言を市長へ提出!

昨年6月から市民委員会で検討を進めてきた「(仮称)まちづくり基本条例」の素案が完成し、3月16日(水)に横本委員長(青少年夢プラン実行委員会所属)から市長へ提言されました。今年度は引き続き、素案に込められたみんなの思いを形にしていくために、条文づくりと仕組みづくりに取り組みます。

※ まちづくり推進室は、センター1階から市役所4階に再び移りました。



3月16日 廿日市市役所にて

23年度4月~蛭江センター長退任、藤井センター所長誕生。



ご挨拶



左から藤井センター所長、蛭江前センター長
運営協議会暫定会長 後藤香代子さん

センター長を引き受けて4年間もお世話になりました。市民活動センターは行政と住民の「協働」の拠点的功能が期待されています。協働を進めるためには、行政と住民の新たな関係づくりが必要です。市民活動センターの運営のやり方も、従来の行政の枠組みと方法に固執せず、両者一緒になってつくりだしていくことが求められていました。そのために気持ち揃え、足並み揃えに戸惑いや苦労がありますが、新たなものをつくりだしていくときには避けられないことです。皆様には「生みの苦しみ」と、忍耐をもって「協働」の拠点づくりのためにこれからも頑張ってくださいと思います。これまでのご厚情に感謝し、辞任のご挨拶といたします。有難うございました。

廿日市市市民活動センター前センター長 蛭江 紀雄
(運営協議会前会長)

4月1日付けで蛭江センター長の後任として、市民活動センター所長に就任いたしました。

今回、この大震災を目の当たりにし、改めて行政の限界を感じた反面、被災者をはじめとする日本国民の助け合いの精神、あるいは被災地における復興に向けた懸命な市民の総合力に、素晴らしいと力強さを痛感しているところです。ここ市民活動センターでは、様々な分野の市民活動団体が「つどい」「まじわり」「しりあい」ながら、交流を深め合い、そして貢献活動をしておられます。その活動を微力ながら応援させていただくとともに、それぞれの団体が「つながる」ことを大事にして、蛭江前センター長の運営方針を受け継ぎ、皆様にとって利用しやすいセンターになるよう全力を尽くす所存ですので、ご支援とご協力の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

廿日市市市民活動センター所長 藤井 昭二

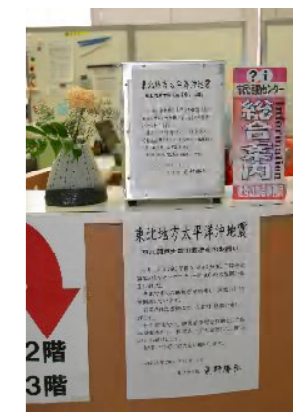
登録団体の貸室利用料金の変更

今年度からセンターに登録している団体は全て半額利用できる事となりました。その他の料金の変更はありません。有料の貸室の予約は6ヶ月前から可能です。

センター受付に義援金募金箱設置

3月13日に行った「被災地支援フェスタ」から始めた募金活動をひき続き行っています。

現在は「義援金募金箱」として、センター1階の受付横に設置しています。今後も、東北関東大震災の被災地支援にご協力を宜しくお願いします。





心をこめて歌いました・・・届け被災地へ！



市民ミュージカル
3月13日、さくらびあでの公演終了後、来場者へ義援金の呼びかけを行いました



ロビーに設置された大きな樽の中に次々と義援金が集まりました。

センターまつり2日前におこった東日本大震災。それを受け、急きょ「被災地支援フェスタ」と名称を変えて開催することになりました。これは市民活動センターで活動している団体として、今、私たちに何が出来るだろうかと実行委員会で話し合い、少しでも被災地の方の手助けになればという考えからでした。結果的に、参加団体の絆を深め、来場者の思いをいち早く被災地に届けることができました。考え方の柔軟さ、行動の早さなど、市民活動の本領を発揮できたフェスタとなりました。



2011.3.13
開催

被災地支援フェスタ



多くの皆様にご来場いただき、また、近隣の皆様にもご協力いただき、本当に感謝しております。来場者の皆様からの募金、出店団体の収益金の合計 **257,136円**を3月16日、日本赤十字社広島県支部に届けました。ありがとうございました。

実行委員長 後藤香代子

来場者アンケート結果発表

会場でお聞きしたアンケート結果です。ご協力いただきありがとうございました。今後のセンターまつり開催への参考にさせていただきます。

地域別来場者

